

# 奈良井川水系基本高水流量の基本方針

## 1. 流域の概要

奈良井川は、茶臼山を源にし南北に細長い上流部を通り、途中、小曾部川 鎖川 田川 等（女鳥羽川、薄川は田川の支川）を合流し松本市西部を通り抜け、犀川に合流している流域面積648.5 km<sup>2</sup>の河川であります。その流域には、塩尻市、松本市の都市があり治水上重要な河川としての位置をしめています。

## 2. 検討方針

治水安全度（計画規模）

奈良井川水系では、流域面積、想定氾濫区域内の面積、人口、資産、及び公共施設等、社会的経済的重要性を考慮して、治水安全度（計画規模）を1/80としています。

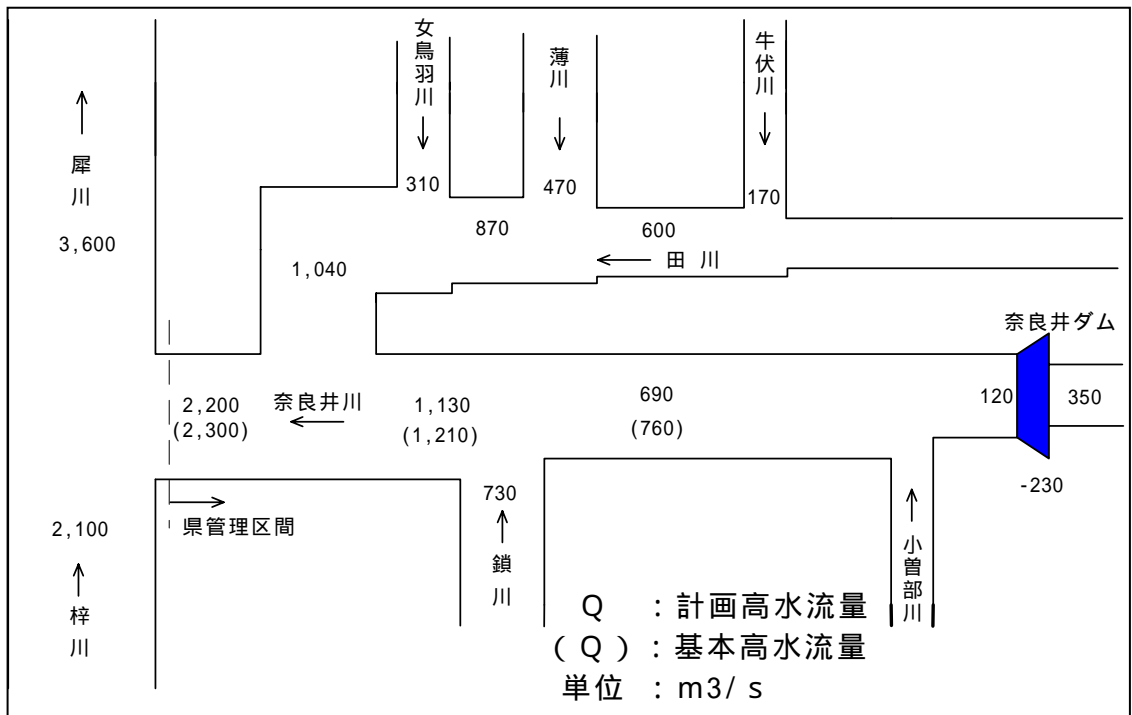
水文資料

昭和元年から平成14年度末までの77年間の2日雨量について収集し検討しました。なお、薄川については、昭和30年から平成14年度末までの47年間の24時間雨量についても収集し検討しました。

流出解析

奈良井川、田川、薄川、女鳥羽川について貯留関数法を用いて解析を実施しました。

## 3. 検討結果



# 奈良井川～田川河川改修計画(案)

## <基本方針>

1 治水安全度 1/80年確率

2 計画対象流量

田川(薄川合流～女鳥羽川合流) 870m<sup>3</sup>/s

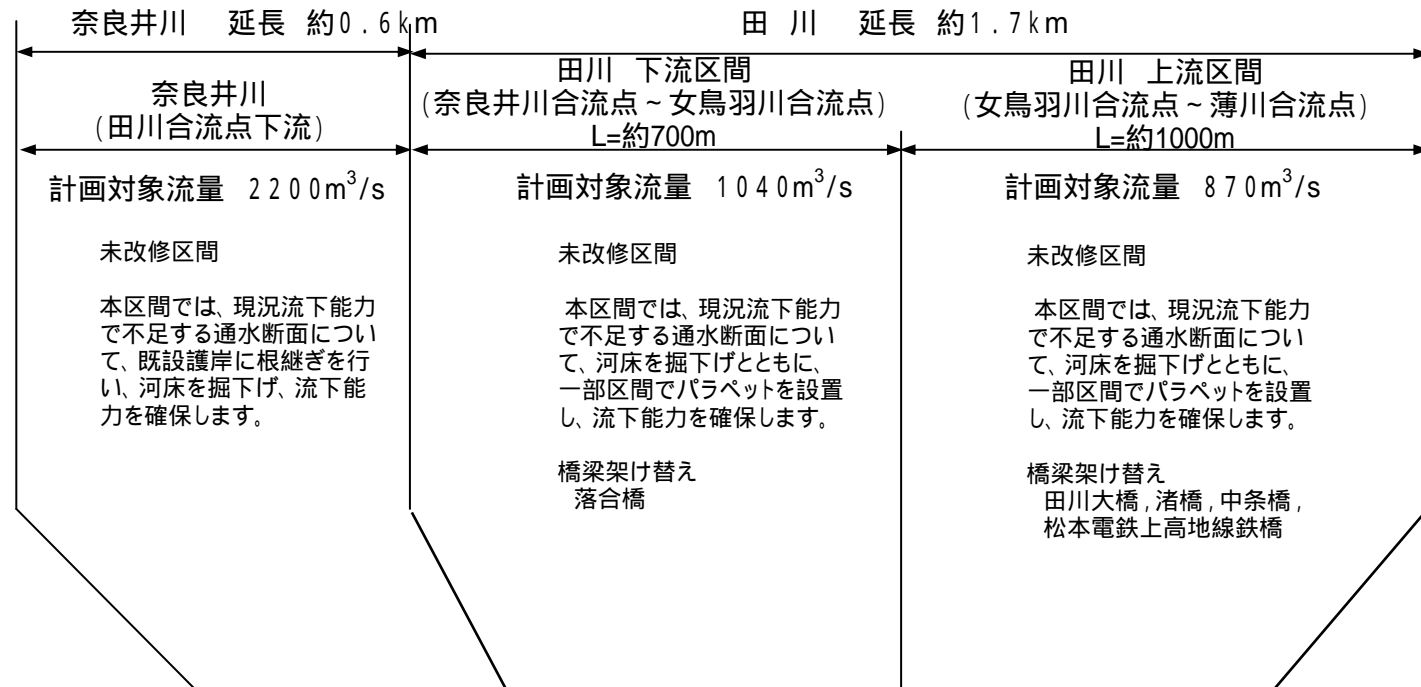
田川(女鳥羽川合流～奈良井川合流) 1040m<sup>3</sup>/s

奈良井川(田川合流点下流) 2200m<sup>3</sup>/s

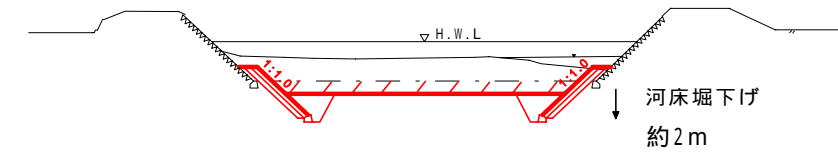
## 2. 河川改修計画

奈良井川は、既設護岸に根継ぎを行い、河床を掘り下げて必要な流下能力を確保します。

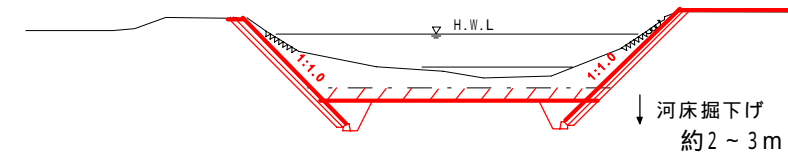
田川は、流下能力が不足する区間は河床の掘り下げとパラペットの設置により必要な流下能力を確保します。



奈良井川



田川





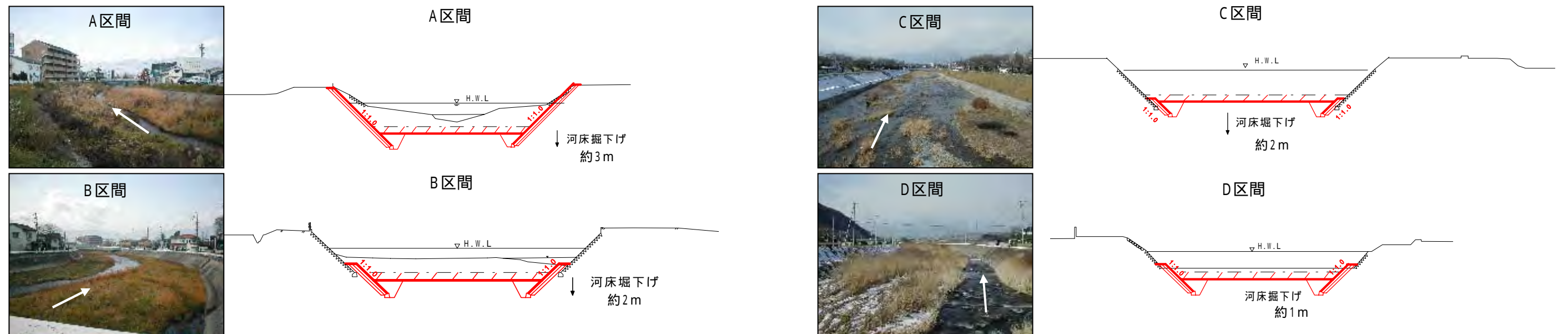
# 薄川(田川合流点～舟付橋)河川改修計画(案)

## <基本方針>

- 1 治水安全度 1/80年確率
- 2 計画対象流量  $470\text{m}^3/\text{s}$

## 2. 河川改修計画

流下能力が不足する区間は、河床を掘り下げ必要な流下断面確保します。  
河床掘り下げ区間の橋梁については、ピアの補強での対応を検討し、可能な限り橋梁の掛け替えを少なくします。





# 薄川(舟付橋～大仏)河川改修計画(案)

## <基本方針>

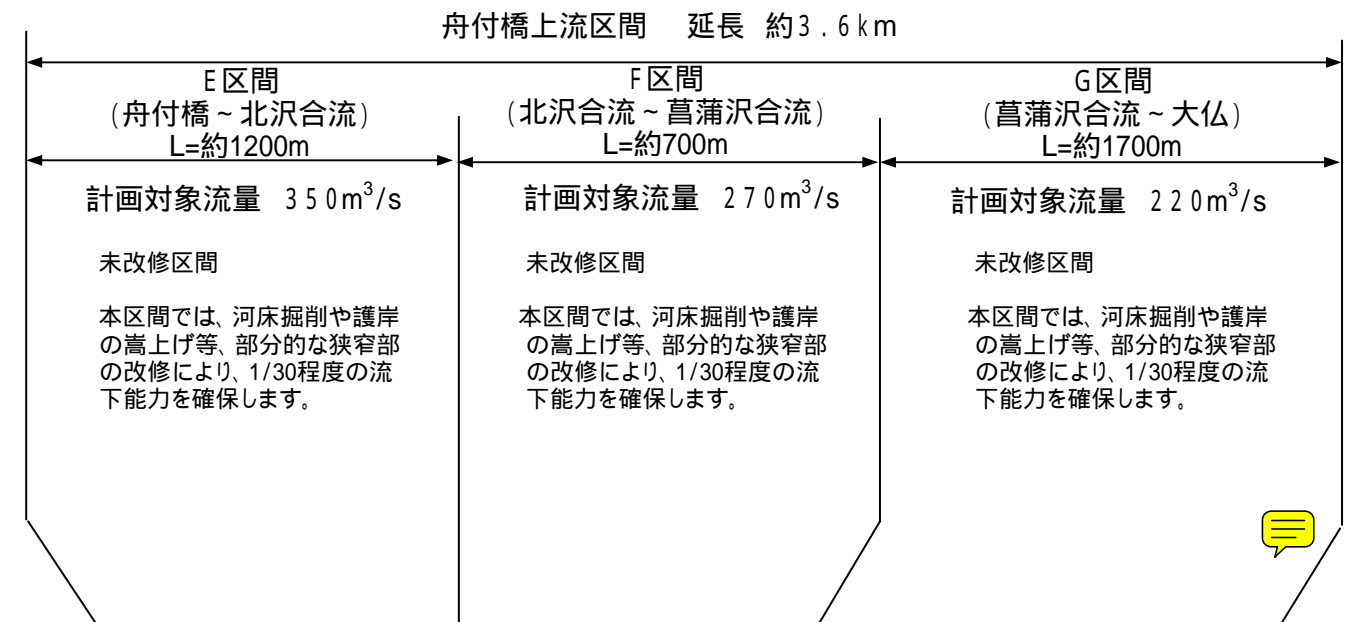
### 1 河川改修の方針

部分的な狭窄部については、河床掘削及び護岸の嵩上げ等により1/30程度の流下能力を確保します。  
 天然河岸で浸食を受けている箇所に護岸を設置します。  
 老朽化した護岸の補強・修繕を実施します。  
 自然環境に配慮した工法を検討します。

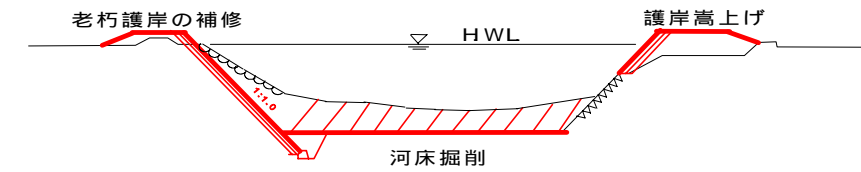
### 2 計画対象流量

薄川(菖蒲沢合流～大仏)	220m <sup>3</sup> /s
薄川(北沢合流～菖蒲沢合流)	270m <sup>3</sup> /s
薄川(舟付橋～北沢合流)	350m <sup>3</sup> /s

## E～G区間



### 既設護岸がある場合



### 天然河岸の場合

